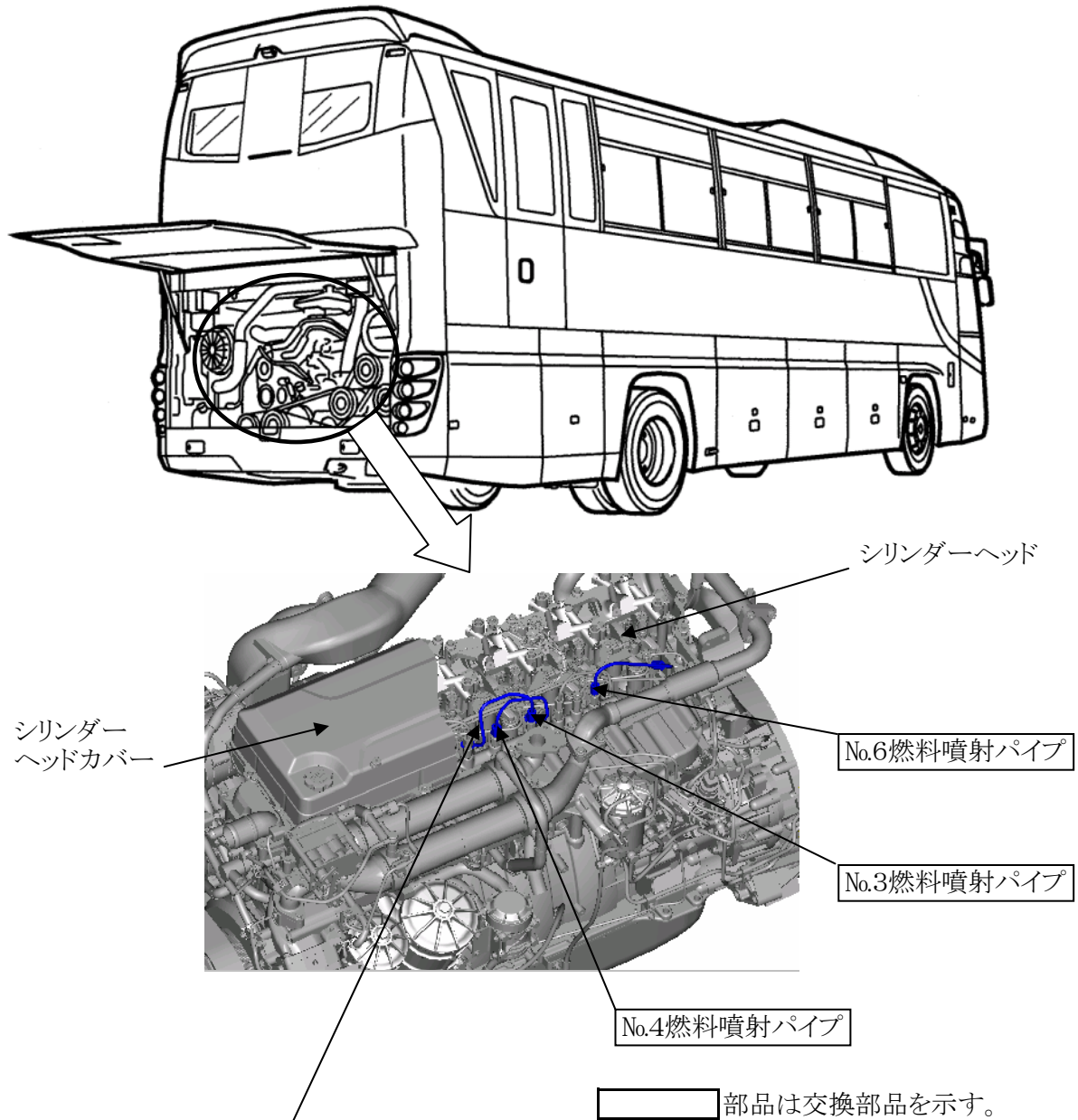


改善箇所説明図

① 燃料噴射パイプ



基準不適合発生箇所

燃料噴射制御プログラムが不適切なため、中速回転域において噴射パイプに共振が発生し、パイプに亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、燃料が漏れてエンジンオイルに混入して、シリンダ内で燃焼されるため、出力不足となる又は振動が発生し、最悪の場合、エンストし再始動できなくなるおそれがある。

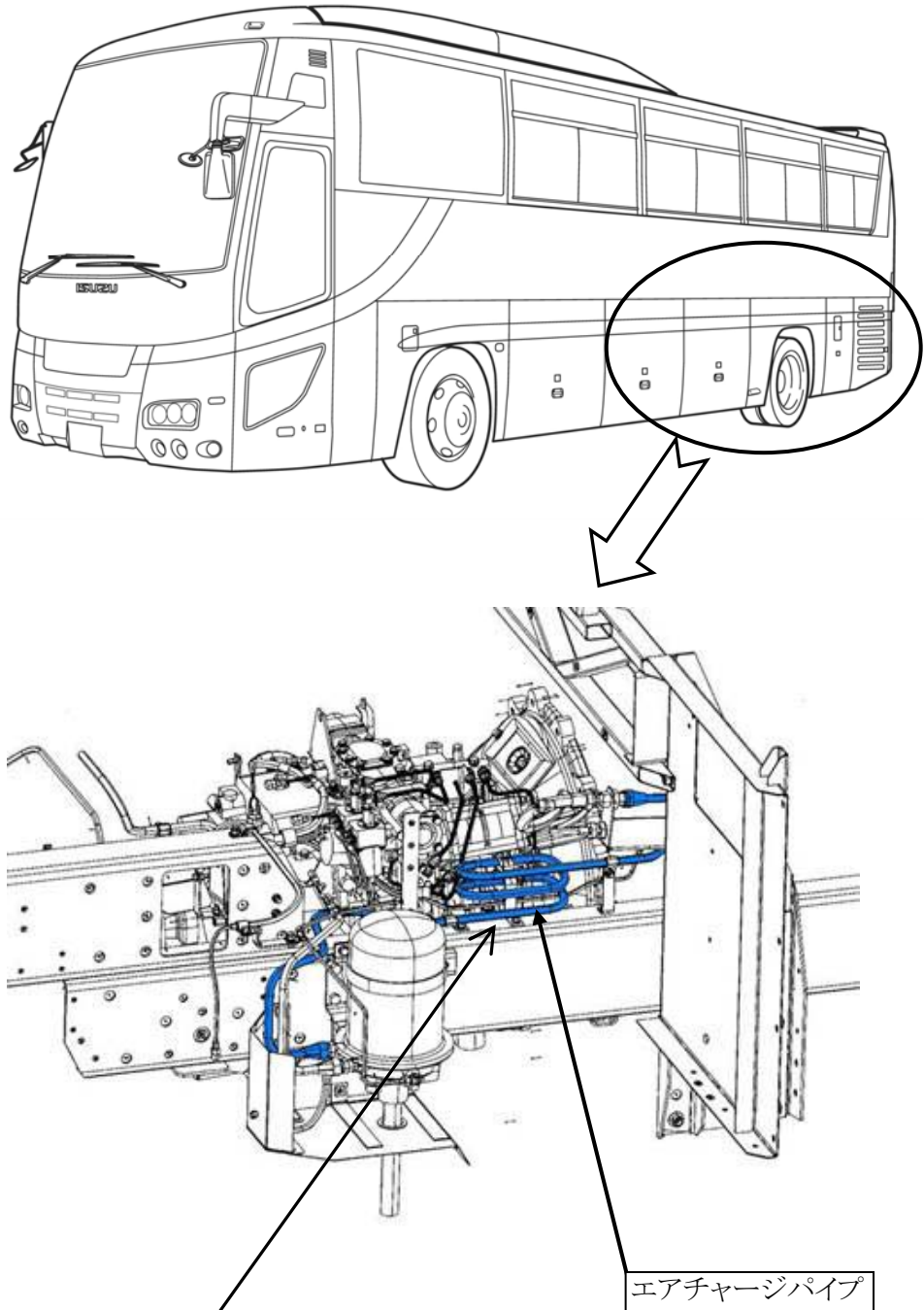
改善の内容

全車両、噴射特性の制御プログラムを書き換えるとともに、当該パイプ(3・4・6気筒)を新品と交換する。

識別 : エンジンヘッドカバー上面に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図

② エアチャージパイプ



基準不適合発生箇所

部品は交換部品を示す。

制動装置のエアチャージパイプの固定方法が不適切なため、エンジン振動等により当該パイプに亀裂が生ずるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該パイプからエアが漏れ、エアの供給量が減少してエアの充填時間が長くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該エアパイプを新品と交換するとともにクリップを1個所追加する。

識別：改善車両には、乗降口の車両番号プレート右上に黄色ペイントを塗布する。